



# やまだ 議会だより

No. 150  
2016. 2.1発行

## あすの山田を担う新成人たち



NPO問題 緊急雇用創出事業補助金の不適正支出

約1314万円返還へ - 2P

町の考えは!?(9人が一般質問) - 5P

議会活動報告

議長交際費の支出状況 他 - 14P

委員会レポート

より開かれ、信頼される議会へ他 - 15P

12月  
定例会

いっしょに

議長 昆 暉雄

明けましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜びを申し上げます。

さて、復興計画再生期の3年目と位置付けられることは、県立山田病院、子ども交流センターをはじめとして、待望の施設が次々にオープンするなど新しい町の姿が見えてまいります。しかし、ことしも多くの方々が仮設住宅で新年を迎えることになりました。一日も早い住まいの確保と町の復興が町民共通の切なる願いであります。

議会といたしましても、皆さまと意思を一つにして、このかけがえのない「山田町」が一日も早く、「住み続けたい町」として再生するよう、全力で取り組んでまいります。

皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



# 円返還へ

12月  
定例会の  
あらまし

**N** P O問題で会計検査院から不当事項と指摘を受けた不適正支出約1314万円を、県への返還金として盛り込んだ補正予算案を可決しました。

今回の補正予算は、歳入歳出全般の所要額を見直し、年度未までの適正な予算を執行するためのものです。

▽補正減額  
4億3812万円

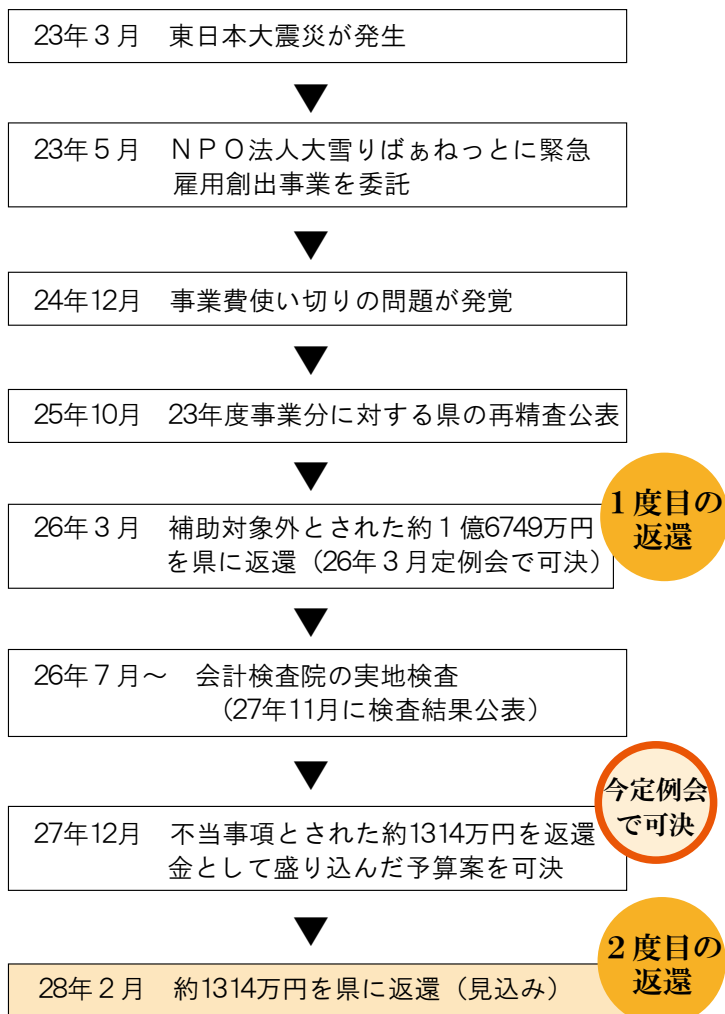
▽補正後の予算額  
576億9119万円

## 会計検査院の指摘受け、苦渋の決断

平成27年12月定例会は12月8日から15日まで8日間にわたって開かれました。町長提案の議案24件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜4ページ)

一般質問(5〜13ページ)では9人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。請願2件は常任委員会に付託して審議し、1件を不採択、1件を継続審査としました。(4ページ)

### NPO問題の経緯



※補助金返還に関係がある内容を抜粋しています。  
※今号の金額の記載は全て1万円未満切り捨てです。

賛成 10人  
反対 3人

# 約1314万

■ **主な質疑**  
 問 県や他市町村は不適正支出額の取り扱いについて検討中のように、現時点で補正予算に盛り込む理由は。 **上林企画財政課長** 会計検査院の指摘は町に返還を求める前提である。23年度事業分について25年度に県の再精査を受け、補助金を返還した。今回も同様の考えで返還しなければならぬと考えている。

■ **討論**  
 「町民への十分な説明を」 **木村洋子議員**  
**不** 適正支出額に含まれる打ち上げ花火は事業と無関係であり、いい加減なお金の使い方だ。町からNPO法人に対しての注意・指導不足があり、町民に十分な説明をせずに返還金を予算に盛り込むことに納得できないため反対する。  
 ※賛成討論なし

## 不適正支出額 約1314万円の内訳



① 事業の対象経費と認められない既存雇用者の人件費  
 約1021万円

② 委託事業に必要なと認められない打ち上げ花火の購入費等  
 約293万円



【内訳】  
 ・花火購入 約100万円  
 ・浮き桟橋購入の一部 約139万円  
 ・その他 約54万円

※写真はイメージです。

### 補正予算案の採決結果

賛成者 10人			反対者 3人	
阿部 幸一、	佐藤 克典		田村 剛一	
田老 賢也、	尾形 英明		黒沢 一成	
関 清貴、	阿部 吉衛		木村 洋子	
坂本 正、	菊地 光明			
山崎 泰昌、	吉川 淑子			

原案可決

※採決結果は、一般会計補正予算案全般に対する賛成・反対者数です。

補正予算  
 ピックアップ  
 お金の使いみち

### 復興住宅融資利子補給補助金 3310万円

東日本大震災で被災された方が、防災集団移転促進事業やがけ地近接等危険住宅移転事業等の利子補給制度を利用せず、住宅を新築・購入するため、借入れを行った場合に利子相当額を補助します。



農地中間管理機構集積協力金 696万円  
 農地を上記の機構に貸し付けたら、借り手が見つかった場合に、地域または個人に対して支援協力金を交付します。(交付には一定の条件があります。)



福祉灯油購入費助成金 800万円  
 住民税非課税の高齢者のみ、障がい者世帯等に対して灯油購入費の一部(1世帯5000円)を助成します。

## 社会保障関連事務などで マイナンバーの利用開始

**番**号利用法の施行に伴い、ことし1月からマイナンバーの利用が始まっています。マイナンバーは市町村や県などの地方公共団体において、社会保障や地方税、防災分野の事務などのうち、条例で定められた事務に利用することができ、当町でもマイナンバーを利用して各種事務を行うため、番号利用法に基づく条例を制定しました。  
(全員賛成で原案可決)



1月からマイナンバーの利用が始まりました  
(政府広報)

## 12月定例会 主な議決議案の内容

12月定例会の主な議案の概要をお知らせします。  
全ての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

### ■災害公営住宅を買い入れ

大沢小学校脇団地の建物等を独立行政法人都市再生機構（UR）から買い入れます。

- ・構造 木造平屋建て、木造2階建て
- ・戸数 計20戸
- ・取得予定金額 5億676万円

### ■（仮称）山田町子ども交流センター図書館用備品を買い入れ

テーブルや椅子、本棚など家具類の備品一式を株式会社小成（宮古市）から買い入れます。

- ・取得金額 2214万円

### ■町農業委員会の委員等の定数を制定

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員の定数を条例で決めました。定数は次のとおりです。

- ・農業委員 7人
- ・農地利用最適化推進委員 5人  
※農地利用最適化推進委員は、担い手への農地利用の集積・集約化などを行います。

### ■豊間根地区、船越地区に光ファイバを敷設

豊間根地区、船越地区の光ファイバ敷設工事の請負契約を東日本電信電話株式会社（NTT東日本）と締結しました。

- ・工期 平成27年12月16日～28年3月31日
- ・請負金額 3億7530万円

## 皆さまからの 請願

■「安全保障関連法の廃止を求める意見書」提出を求める請願

▽提出者  
みやこ九条の会会長  
長門 孝則氏

▽紹介議員  
木村 洋子  
田村 剛一

▽付託委員会  
総務教育常任委員会

▽主な審査意見  
世界情勢を鑑みると、請願の要旨を全て肯定することはできず反対。

▽討論 木村洋子議員  
日本は、70年前の大戦の反省を基に憲法を制定し、平和に暮らしてきた。しかし与党の憲法解釈によって海外で戦争できる国になろうとしている。日本が再び戦争することを許してはならない。  
※反対討論なし

## 不採択

（賛成2人、反対11人）



## 継続審査

■安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書

▽提出者  
岩手県医療労働組合連合会執行委員長  
中野 るみ子氏

▽紹介議員  
木村 洋子

▽付託委員会  
産業建設民生常任委員会



一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。

# インフラ整備は順調か

## 状況に応じて対応する



山崎泰昌議員  
(政和会)



信号機設置が望まれる山田高校入口付近

**問** 以前より、細浦の山田高校入口の国道は、北浜のように新しく信号機設置が必要だと提言してきましたが、その対応は。

**佐藤町長** 国道のかさ上げや拡幅などにより、交差点形状が変わるので、県公安委員会に対し、設置要望協議書を平成27年5月に提出している。

**問** 北浜地区の場合も何度も要望して現実化したので、今回も粘り強く要望するべきでは。

**川守田建設課長** 信号機の設置は重要だとの認識があるので実現に向けて努力する。

**問** 復興工事が本格的に始まった浦の浜、前須賀地区において、交通の安全確保のための湾台から前須賀の仮設道路建設は、年内完成の予定だったが。

**町長** 県では、代替となる仮設道路の借地の了承を地権者から取り付けている状況とのこと。防潮堤の盛り土工事が始まる28年8月までには工事を完成させる計画である。



仮設道路建設予定の前須賀地区

**問** 町内至る所で電柱や各種標識の傾きが見受けられる。安全面や景観を考えると、復興事業と並行して整備を促すべきでは。

**町長** 復興事業区域内にある電柱や標識灯は事業の進行に合わせて整備する。町管理のものは順次補修を進め、町管理以外の電柱などは施設管理者に伝え修繕対応を求めらる。

**問** 仮設住宅の集約計画を27年度中に策定するとあるが、進行状況は。山田の地域性を考慮しているか。

**町長** 各種事業による宅地の供給に合わせ、各地区単位での集約化を図る。

**問** 集約化が進まないというターンの受入れに支障を来すのではないか。町が目指している人口増を進めるため、災害公営住宅も空きがあつたら被災者以外にも貸すようにしてはどうか。

**甲斐谷副町長** 一般の人に貸すには国の許可が必要であり、原則5年の期間がかかる。現状では厳しい問題である。

# 人口減に伴う中での 将来ビジョンは

## 身の丈に合った計画で



菊地 光明 議員  
( 新 生 会 )

**問** 現在の日本の人口は約1億2700万人となっていて、現状のまま推移すると将来人口は1億人を割り込むと言われている。将来ビジョンを描くには、まず人口がどのようになっていくかを把握しなければならぬ。全ての政策は人口の行く末によって左右される。そこで次のことを伺う。

町の将来人口の推移は。

**佐藤町長** 推計人口は、2015年は1万5404人であるが、2025年には1万3712人。

**問** 2025年の各地区別の人口は。

**町長** 豊間根2222人、大沢1597人、山田4859人、織笠19



船越小学校の児童たち

42人、船越3094人。  
**問** 年少人口、生産年齢人口、高齢人口の状況と割合は。また、各小学校別の児童数は。

**町長** 階層別では、年少1275人で9.3%、生産年齢が6883人で50.2%、高齢が5554人で40.5%。児童数は6年後の2021年に

は豊間根小103人、荒川小24人、大沢小63人、山田北小55人、山田南小122人、織笠小53人、轟木小31人、船越小90人、大浦小15人と推計している。

**問** 将来人口の減に合わせる、総合計画など全ての基本計画を計画すべきであると考えるが。

**上林企画財政課長** 現在策定中の総合計画においては、今の町民はもちろん、将来の町民にも責任を負うことになるので、身の丈に合う計画を策定したい。

## いわて国体の対応は

### 町民挙げて「おもてなし」を

**問** いわて国体の準備および来町者に対する対応は。

**町長** リハーサル大会を開催し、本大会の成功に向けて準備を進めている。来町する人たちに対しても、町全体で歓迎の気持ち、復興支援への感謝の気持ち、復讐への感謝の気持ち、被災地としての「おもてなし」に取り組む。



婦人会によるおもてなし風景





阿部幸一議員  
(新社会)

避難者対象アンケート

# 帰還希望者減少への対応は

## 復興計画を着実に進行

**問** 県が実施した避難者を対象にしたアンケートによると、「地元帰還」が2割を切ったが、町の対応は。

**佐藤町長** 時間の経過とともに避難者の意向が変化しているのは事実として受け止めなくてはならない。被災者個々の事情があり、内陸定住を決めた方もいると思うが、町としてはできるだけ多くの方に「地元に戻りたい」と思ってもらえる町づくりが求められているものと考えている。そのため、コンパクトな町を指している山田駅前拠点をはじめ、復興計画に沿った事業を着実に進行させ、1日も早い完成に向け努力していく。



着々と工事が進む災害公営住宅山田中央団地

### 応援職員の退職者は

**現時点で3人**

**問** 応援職員で、自己都合で退職した職員はいるか。

町が平成28年度に必要とする応援職員は75人程度と聞いているがそのとおりか。

**町長** 本町に派遣されている自治体等の職員や、町で採用した任期付職員など、いわゆる応援職員のうち、自己都合により退職した職員はこれまで

3人となっている。年度別では平成26年度が2人、27年度が1人、確保区分別では町任期付職員が1人、県任期付職員が2人である。いずれも任期中での退職ではあるが、家庭の事情等が主な理由となっている。

28年度の応援職員の必要数については、75人である。

### 町税収入見込み額は

**合計11億3千万円**

**問** 27年度の町税収入額の見込みは。

**町長** 平成27年10月末現在の徴収実績に基づき推計した町税の収入額は、町民税5億2600万円、固定資産税4億1600万円、軽自動車税3800万円、町たばこ税1億4900万円、合

計収入額は11億3千万円。前年度決算額より6100万円ほどの増と見込んでいる。

国民健康保険税の収入額は4億2300万円、前年度決算額より4100万円ほどの減と見込んでいる。

一般質問



田村剛一議員  
(未来クラブ)

# 山田地区の復興事業は順調か

## 北浜防集事業は29年度完成予定



整備が進む八幡地区

**問** 復興工事は急ピッチで進められているように見えるが、山田地区の事業は計画どおりに進んでいるのか。

**佐藤町長** 山田地区土地区画整理事業の進行状況は2割程度となつてい

る。先行盛り土された八幡地区(旧山田病院前)の引き渡しは29年度予定。飯岡地区および役場前の区画整理事業は、28年度から盛り土・造成工事を進め、29年度完了の予定で進めている。

**問** 北浜地区の防集・高台移転事業は、計画自体も見えてこないがどうなっているのか。

**川守田建設課長** 北浜地区の事業については、現在意向調査を実施中である。今後計画を調整し、

29年度には完成させる計画である。

**町長** 山田中央団地は28年夏に、その他の団地については進行状況を見ながら順次説明会を開催したい。

### 給食センター建設の準備を

### 町民の意に沿うよう努力したい

**問** 仮設住宅が撤去されたら、すぐに給食センターの建設に取り掛かれるよう準備すべきである。

**町長** 給食センターの建設については、復興事業の進行状況などを考慮しながら、条件の整った段階で事業を進めていきたいと考えている。

### 学術・研究機関の誘致を

### 将来的課題と捉えている

**問** 条件が整う段階とはいつのことか。凍結解除の方向性は出ているのだから、準備だけは早めにするべきである。

**甲斐谷副町長** 住宅再建や災害公営住宅への入居

**問** 町の活性化、教育の振興からも、学術・研究機関の誘致運動を進めたいと思うがどうか。

**町長** 県が「国の研究機関等の地方誘致要望」を取りまとめる際、本町への「水産総合研究センター」の誘致を取り上げてもらっている。

- その他の質問
- ◆ NPO問題の会計検査院の報告についての対応は
  - ◆ 水産振興のための協議会設置を
  - ◆ JRの町内工事着工と駅舎の規模形態は
  - ◆ 浦の浜海水浴場の復旧事業着手時期は

**問** 宮古には県立短大、大槌には東大海洋研究



# 被災土地の利用計画は

## 関係機関と協力して進めたい

**問** 希望に満ちた郷土をつくりたいと考えている。草野球ができるようなグラウンドなど、町民憩いの場を整備する考えは。

**佐藤町長** 野球場などの施設は、被災していないので整備は難しい。緑地広場を多目的憩いの場として活用するのは可能。

**問** 多くの意見を聴く検討委員会等を考えているか。

**沼崎復興推進課長** 危険区域で買収できるのは住居であったところであり、虫食いの状態となっている。土地集約が先決であると考えており、現時点では検討委員会などは考える環境にない。

**問** 町づくりのチャンスであるが、町長は自分がつくる町づくりのため先頭に立ち土地利用計画を進める考えはあるか。

**町長** 復興大臣などに「被災跡地に係る土地利用対策の推進」ということで税法上の改善をお願いした。虫食いの状態の現状では委員会などを立ち上げることもできない。虫食いの状態、草ぼうぼうでは復興とはほど遠いものになる。関係機関と協力して進めたい。

# 学校給食の有無による教育環境の比較は

## 総合的判断が必要

**問** 文科省調査では、ほとんどの小中学校で完全給食を実施している。現在、実施していない本町の教育環境は他市町村と比較して優れているか。

**佐々木教育長** 教育環境について、給食を実施している学校がほとんどであることは了知している。総合的な面から捉えた場合、各団体により特色があり単純に比較できるものではない。

**問** 完全給食を実施していない市町村は特殊と思うが、県内を異動している教職員の意見は。

**教育長** 給食は生徒のため。その辺は理解してもらいたい。

**問** 生徒のためというのであれば、昼食時間に温かく、同じものを食べることはいいことであるが、教育現場で弁当を持ってこる子、持ってこ

ない子との差を教職員はどのように感じているか。

**教育長** 給食の良し悪し、要不要は別として、職員の観点から子供を知るといふ部分においては、もしかしたら給食より弁当のほうが家庭が見え、理解が進むのではないかと思う。

### その他の質問

- ◆災害公営住宅の希望調査は、第2・第3希望までとっているか
- ◆ヨーロッパパラボヤの対策は検討しているか
- ◆いじめ防止基本方針の対応策は十分か
- ◆複式学級の把握はできているか



議員 清貴 関  
(政和会)



区画整理事業予定の中央町

一般質問

# 会計検査院の 検査結果への対応は

## 補助金の返還を行わざるを得ない



木村 洋子 議員  
(日本共産党)

**問** 会計検査院の検査結果で不適切な支出が新たに指摘されたが、詳しい内容と、町としての認識と対応は。

**佐藤町長** 11月6日に検査結果公表があり、その中で既存雇用者の人件費や、委託事業に必要と認められない打ち上げ花火の購入費など、1314万円余りが不当事項として指摘された。重く受け止め、今後は会計検査院の指摘を踏まえて、県との補助金交付契約の規定に基づき、補助金の返還を行わざるを得ない。

**問** 指摘された中に打ち上げ花火があるが、詳しい内容は。

**町長** 花火は、被災者支援の名目で平成24年8月19日にNPO法人が開催した盆踊りイベントで打ち上げられた。材料費からの支出となっており、事前の協議はなかった。

**問** 20分ほどで100万円が花火として空に散ったのである。雇用創出とは無関係であり「後の祭り」では済まない事態である。法人ではその後、12月のクリスマスにも花火を上げようとしていた。1回ならず2回もある。きちんと町から注意や指導がなされていたか。

**甲斐谷副町長** 職員を配置したり指導の強化を図った。全容説明は司法の手にわたっているので、これらの結果で判断していた。

### 一般質問

## 除雪対策、業者への指導は

### 説明会で注意事項などを伝達

**問** 業者への連絡や指導は毎年十分に行われているか。

**町長** 毎年12月初めに説

明会を開き注意事項などを伝達している。連絡や指導は十分行われていると考える。

## 段差のある宅地に擁壁設置を

### 宅地整備基準に基づき対応

**問** 本町は、宅地の擁壁設置基準をのり高1メートル以上としているが、

隣地との段差のある場合は、1メートル以下でもコンクリートなどで境界

- その他の質問
- ◆ 心急仮設住宅で暮らす被災者への精神的支援策は
  - ◆ 恒久住宅への移行の目途が立てられない方への支援方法は
  - ◆ 福祉灯油はことしも継続されるか



織笠地区の高台宅地

を設けてほしいとの声が上がっている。独自で擁壁を施工すると、隣地地権者との境界で問題が発生するのではと懸念する。トラブル回避と土地の有効活用、そして住みよく安心できる宅地を被災者に提供するため、宅地間に段差がある所には1メートル以下でも擁壁を設置すべき。

**町長** 町では公平かつ良好な宅地整備を行うことを目的に宅地整備基準を定め、1メートル未満のり面は植生シートで対応している。宅地間の問題は、隣接する地権者同士で話し合いの上、解決するのが基本である。





阿部吉衛議員  
(政和会)

# 町職員による 工事作業の考えは

## 建設業者による対応が最良

**問** 町では建設関係者にばかり頼らないで、町の職員に建設機械等の各免許を取得させ、何かあるときは応急処置や対応ができるようにできないか。



復旧事業における重機での作業風景

**佐藤町長** 災害復旧や維持補修については、建設機械を保有する建設業者に依頼することで、効率的な作業の進行や安全性が保たれる。建設業者に依頼し対応することが最良と考えるが、町保有の特殊車両などの簡易な資格の取得については検討していく。

**問** 北浜、柳沢、北浜8区、関口、関谷地区は暗い場所がたくさんあり、町に対して町民からの相談があるため、地域安全などのため、街灯設置をお願いしたいが、町の考えは。

**町長** 街灯の設置については、付近に学校などの公共施設があり、通行量が多いことや、住宅が3戸以上並んでいることなどが条件となるが、夜間の通行状況を確認し、危険な状況であれば対応している。

## 暗い箇所への街灯設置を

### 状況確認し、対応



街灯設置が望まれる北浜、柳沢地区

## ザラボヤ問題の進展は

### 今後も取り組む

**問** 山田湾で大発生したヨーロッパザラボヤの問題で、三陸やまだ漁業協同組合と町では、県や国に対し要望書を提出したと聞いている。何かしらの進展はあったのか。

**町長** 町では、三陸やまだ漁業協同組合からザラボヤ被害対策の協力要請を受け、県などに対し、ザラボヤの異常繁殖の原因解明に向けた調査・研究に取り組むよう要望した。今のところ大きな進展はないが、今後も協同して取り組んでいく。

# 財源不足対策と町民への報告は

## 税率改定と広報での周知を検討



田老賢也議員  
(無所属)

一般質問

**問** 平成26年度の決算で、国民健康保険の財政調整基金（一般家庭の貯蓄に相当）がわずか286万円しか残っていないことが明らかとなった。財政調整基金の取り崩し額は、25年度に約1億1千万円、26年度に約2100万円であり、今年度の残高286万円は非常に厳しい。健全運営のための対策と、町民への現状周知が必要と思うが。

**答** 平成28年度も延長することが決まっている。27年度も継続しているが、財源不足を踏まえた上で28年度の実施予定は。  
**問** 延長することだが、現実問題としてお金がない。無い袖は振れないため打ち切りも視野に入れるべきと考えるが、延長により不足する財源はどうやって補うのか。  
**答** 延長することだが、現実問題としてお金がない。無い袖は振れないため打ち切りも視野に入れるべきと考えるが、延長により不足する財源はどうやって補うのか。

**上林企画財政課長** 一部



町の基幹病院となっている県立山田病院

負担金の免除は被災者支援の意味も込めて町長の政策判断で行っている。セーフティネットとしての国保の役割を考えれば、一般会計からの繰り入れもやむを得ない場合もある。

**問** 被災者支援のために一部負担金の免除を行う

ているとのことであるが、本来に被災者のためになるのか。一部負担金の免除により町のお金が高額になり、増税時期も早まる。何が被災者のためになるのか総合的に判断していただきたい。  
また町民への周知も検討することだが、どういった方法で行うか。増税は生活に直結するので、早めの周知をお願いしたい。

**国保介護課長** 広報やま

◆ 下水処理の非水洗化  
地域への対応と浄化槽設置補助金について  
その他の質問





尾形英明議員  
( 新 生 会 )

# 社協への補助金と町の関与は 地域福祉事業に補助金支出と検査指導

一般質問



社会福祉協議会が一部利用している保健センター

**問** 町の補助金が社会福祉協議会の運営予算に占める割合と算定方法は。  
**佐藤町長** 社協への補助金は、地域福祉を推進する事業に対し約3割の事業費を補助している。  
**問** 運営に対する町の関与は。  
**町長** 補助金を出している地域福祉事業への助言

や検査指導など。  
**問** 事務所として行政財産の保健センターを貸しているが契約内容は。  
**町長** 地方自治法の規定に基づき、毎年度申請を受けて使用を許可している。

**問** 農用地の後継者の高齢化や管理保全も考えなければならぬ時期、対策は。  
**町長** 地域で営農を継続できるように、生産基盤の整備や担い手への利用集積を図り、農用地の有効

## 農業の後継者対策は

### 生産基盤の整備や利用集積

利用が必要と考える。制度としては、非農家などからの新規就農者に「青年就農給付金制度」を活用してもらい、経営が軌道に乗るまで一定期間を支援する。

〈ことば〉  
〈青年就農給付金制度〉

新規就農者に対し給付金を給付する制度です。制度を活用すると、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円が給付されます。制度を活用するためには、年齢や就農計画など、要件があり、それらを全て満たす必要があります。

## 農業用水の確保と 家庭雑排水対策は

### 合併浄化槽の普及促進を図る

**問** 汚水による農用地の土壌の悪化を防ぎ、農業を安心して行うための抜本的対策は、圃場整備や下水道の早期完成にあると考える。家庭雑排水対策は。  
**町長** 土壌の悪化防止には、用・排水の分離を行

うことが効果的である。圃場整備事業など、用・排水の分離は、農業環境の保全や営農活動の推進に必要なため、事業の推進に努める。家庭雑排水対策については、下水道処理区域外では、合併浄化槽の普及促進を図る。

# 活動報告

このページでは、議会の活動を皆さまに知ってもらうために、議会の活動内容や議長交際費の支出状況など、さまざまな事柄を取り上げてお伝えします。



12月：常任委員会所管事務調査  
調査内容をもとに、町へ要望書を提出します

年	月	日	内 容
27	11	25 ～26	<b>■議会広報担当者研修会</b> 場所：花巻市 ・読んでみたくなる紙面編集（基本編） ・議会広報クリニック
		1	<b>■全員協議会</b> ・民事訴訟等の状況報告について ・山田町超高速ブロードバンド基盤整備事業光ファイバ敷設工事の概要について その他 7件 <b>■議会運営委員会</b> ・平成27年第4回山田町議会定例会会期、議事日程について
	12	8 ～15	<b>■平成27年第4回山田町議会定例会</b> ※関連記事 2～4頁
		10	<b>■復旧・復興特別委員会</b> ・復興事業の進行状況について ※関連記事15頁
		16 ～17	<b>■常任委員会</b> ・所管事務調査（平成27年度事業の概要と実施状況についての聞き取り調査）
		22	<b>■東部町村議会議長会研修会</b> 場所：岩泉町 ・人口減少時代における地方議会の在り方と議会改革について
28	1	8	<b>■新議員研修会</b> 場所：盛岡市 ・地方自治における議員の役割 ・地方議会制度と会議規則等の運用について
		12	<b>■全員協議会</b> ・平成27年度山田町地域防災計画の修正（案）について ・山田町総合計画（序論・基本構想・実施計画）（素案）について その他 2件
			<b>■議会広報編集特別委員会</b> ・今号の監修について
		15	<b>■議会改革検討特別委員会</b> ・町民と議会との意見交換会について ・会議録の公開について その他 3件 ※関連記事15頁
		19	<b>■議会広報編集特別委員会</b> ・今号の校正について

議長交際費

第3四半期支出は  
3万7千円

第3四半期（27年10月から12月）の議長交際費の支出は3万7千円となりました。内訳は次のとおりです。

- お祝い金 1万円
- 祝賀会などの会費 2万7000円

議長交際費とは？

議長交際費は議長が町議会を代表して行う対外的な活動に要する経費です。主に各団体に対するお祝い金や祝賀会の会費などに使用されます。平成27年度の議長交際費の予算額は30万円となっています。

※紙面の都合上抜粋しています。



# より開かれ、信頼される議会へ

## 議会改革検討特別委員会

### 分科委員会での検討内容

#### 第1分科委員会

- ・ 議員研修について
- ・ 議会報告会について
- ・ 政務活動費について など

#### 第2分科委員会

- ・ 会議録の公開について
- ・ 一般質問のあり方について
- ・ 先例の見直しについて など

### 各分科委員会共通のテーマ

- ・ 議会基本条例について

**各**分科委員会で検討したテーマを委員会全体で審議し、決定した内容を議会運営に随時取り入れていきます。各テーマの審議状況などについては、今後皆さまにお知らせしていきます。

**本**町議会の改革について検討していくため、平成27年10月定例会で議会改革検討特別委員会（吉川淑子委員長、委員は議長を除く13人）を設置しました。委員会内に2つの分科委員会を設け、さまざまなテーマについて検討を行っています。



委員会での審議の様子



復興した新生やまだ商店街

**町**の復旧・復興について調査をするため、平成27年10月定例会で復旧・復興特別委員会（尾形英明委員長、委員は議長を除く13人）を設置しました。

27年12月10日に委員会を開催し、復興事業の担当課から事業の進行状況について聞き取り調査を行いました。主な質疑は次のとおりです。（委員会開催時点から状況が変

# 一日も早い復興を目指して

## 復旧・復興特別委員会

わっている可能性があります。ご了承ください。）

**問** 北浜地区の高台住宅団地の整備状況は。

**川守田建設課長** 山田地区の意向調査中である。30年3月までに完成予定だが、トンネル工事の関係で調整が必要になる。

**問** 山田地区から織笠地区の国道の完成時期は。

**田川技監** 完成見込みは、北浜・柳沢地区が30年度、跡浜地区は29年、細浦地区は30年である。山田地区は29年1月に開通予定である。

**問** 船越第1団地の事業進行状況は。

**建設課長** 87％程度で、

28年3月までに完成予定。さまざまな手続を行い、28年6～7月ころ引き渡し予定である。

傍聴席からひとこと

No. 46

「希望が持てる事業の検討を」

川端 京子 さん  
大浦 76歳

平成27年12月8日、山田町婦人団体協議会の議会傍聴があり、私は若い部員さんの代理で出席しました。震災後、私は仮設住宅で生活をしており、議会傍聴も十数年ぶりでした。若い議員さん方の活躍に山田町民としての期待もあり、ゆつくり傍聴させてもらいました。

定刻になり始まった平成27年第4回山田町議会定例会を傍聴した際の一般質問の内容は次のとおりです。

- ・町勢発展のための施策について
- ・町の将来人口について
- ・高規格道路について
- ・岩手国体について
- ・県の震災避難者アンケートについて
- ・マイナンバー制度について
- ・応援職員について
- ・介護現場の処遇改善と山田町の介護職について

・新たなコミュニティについて

・町税について

これらの質問が3人の議員さんからあり、その質問に対する担当者から回答、再質問の繰り返しでした。質問は復興関連のものでしたが、震災から4年11カ月になった今、まだこのような質問なのかと少々腹が立ったり、歯がゆい気持ちで聞いておりました。

質問する議員さんも、質問内容等を研究してほしいと思うこともありまして、それぞれの職業の方々の意見、現場の様子を重視し、町外の取り組みの様子、現実をよく研究していただき、山田町のさらなる発展のためにも、また、若い方々も希望を持てる事業等を考えてほしいと切望するばかりです。



明日の山田が見えてくる！

議会を傍聴しませんか？

傍聴の手続きは簡単！備え付けの用紙に氏名、住所を書くだけです。是非お気軽にお越しください。

次回の定例会は2月中旬に開会予定です。日程が決まり次第、ホームページに掲載します。

あ  
と  
が  
き

▼昨年9月の町議会議員選挙において当選させていただき、12月定例会で一年生議員として初めての一般質問で町の考えを聞きましたが、議論が深まらず勉強不足を痛感しました。これから毎日が勉強の日々です▼27年11月25、26日は新しい広報編集委員の研修会に出席してきました。早速今回の広報で研修成果を取り入れようとみんなで話し合いましたが、日程的な問題から断念しました。次回紙面からは研修成果を出せるよう委員一同頑張りますので、よろしくお願いたします。(菊地)

定

例会や臨時会などの議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、3月中旬ころから、役場5階の議会事務局で閲覧可能となる予定です。

発行責任者

議長 昆 暉 雄

議会広報編集特別委員会

委員長 吉川 淑子  
副委員長 佐藤 光典  
委員 木田 克光  
" " " 関村 洋賢  
" " " 清貴